

列福式へ参列される皆さんへ

■列福式救護部門から参加者の健康安全の心得
列福式には大勢の方が参加されます。各自の健康と安全に気をつけ、参加者の皆様は次の点にご留意くださいますようお願い申し上げます。

1. 保険証または保険証のコピーを持参してください。
2. 日頃服用している薬は忘れずに持参し、服用してください。
3. かかとが低い靴など、履きなれた靴や日頃使用している杖を持参してください。
4. 天候に注意し雨具の準備をし、傘は式典が見えにくいので、できればレインコートを用意してください。
5. 朝食、昼食を摂ってから式に参加し空腹の状態でも式に参加しないでください。
6. 事故発生や気分が悪くなった時は本部、または近くの救護班にお知らせください。
7. 救護所や救護班の位置は前もって確認しておいてください。
8. 入場許可証の裏面に氏名、年齢、連絡先、治療中の病気を記入してください。
9. 気分が悪くなるとトイレに行く時は、トイレで倒れることが多いので必ず、周りの人に付き添いを依頼してください。
10. 気分が悪くなったら無理をせず、救護所で休んでください。

*会場には参加証を身に付け 11 時までに入場してください。式典終了は 15 時の予定です。

188人殉教者の列福裁可があつて1年以上が過ぎましたが、その間私たちはどのような心を持って過ごしていたのでしょうか。日本カトリック司教協議会列聖列福特別委員会では、昨年2月には「殉教者を想い、ともに祈る週間」を全国に呼びかけました。また、今年10月5日は「188殉教者列福式前全国一斉祈願ミサ」とその日から「列福をひかえ、ともに祈る7週間」とし、式に向けて日本の教会に物心両面においてふさわしい準備を求めています。

列聖列福特別委員会は、10月5日から全国で行われる「ともに祈る7週間」のため、殉教者の生涯をその特徴に従って八つのテーマに分け、それぞれにふさわしい聖書と殉教者のことを紹介しています。

「殉教者のことば、黙想に役立つ解説を用意しています。これに従って毎回、約15分、グループまたは個人で各テーマを祈りながら深めることにより、殉教者への認識と理解を深め、その霊性に親しむことができます。」小グループで分かち合うことによって、現代の教会に対して求められていることが何かを、殉教者から必ず教えられるはずで

福岡教区殉教者顕彰推進担当司祭の深堀勝人神父（佐賀教会主任）は、間近になった列福式へ向け、教区民が深い信仰を持って福者を迎えられるよう、また、司教協議会列聖列福特別委員会の「ともに祈る7週間」を積極的に受け入れ、祈りの内に準備しようと呼びかけている。



「列福をひかえ、ともに祈る7週間」
：深い信仰をもつて福者を迎えるために：



宮原良治司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通 39
発行人 カトリック福岡司教区
編集人 森山信三
TEL 092-522-5139
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部 60 円

10月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう
【一般の意向】シノドス
【布教の意向】教会の宣教への参与
【日本の教会の意向】ロザリオを通して
宣教と平和のために祈る

8月8日、聖ドミニコの祝日に司教着座後、はじめての霊名の祝いが浄水通教会で行われた。聖堂いっばいの信徒司祭団とともにその喜びを分かち合った。司教は、説教の中で次のように語った。「聖ドミニコが生きた時代は、多くの異端が出て、教会は危機に晒されていた。そんな時代に彼は説教を専門とする修道会を創立した。ドミニコは、聖職者に清貧を求め、ま



宮原良治司教霊名の祝いを司祭団と共に

は以前からそれぞれの殉教地で顕彰が行われ、2001年からは、カテドラルにて教区内の28人の殉教者に心を留め、司教様とともにミサを捧げてまいりました。今後とも28人の福者の信仰に倣いながら、さらに列聖に向けて祈り続けたいと思います。最後に皆様とともに敬虔な信仰をもつてこの喜びの日を迎え、殉教者が、現代に生きる私たちの信仰、希望、愛の道しるべとなり、私たちのよき模範となることを願っています。

ある時「今の若者の世界を色で現すとどんな色を使いたいと思いますか」と質問されたことがあります。返事をためらいましたが「少しくすんだしみもある青色にしたい」と答えました。今の社会に色の変化は多いですが、インターネット、ソフトウエア、携帯電話などの伝達手段は国々の境をなくしたかのように見えます。若者はこんな変化に深い影響を受けています。たとえば、自分の国から出て、他

4地区司祭集会で教区の課題を討議

去る7月8日、開催された司祭評議会において提出された教区の緊急中長期的な課題について4地区の司祭団は、各地区でそれぞれ司教を交えて討議を重ねた。小教区や幼稚園においても取り組むべき課題は山積しているが、共通して挙げられた課題は、司祭の生活に関する問題、少子化による幼稚園経営の困難あるいは、司祭及び信徒の養成の必要性、特に家庭における信仰養成や青少年の司牧の重要性、小教区制度の問題、さらに召命の促進など多岐にわたった。このような状況を乗り越えていくために必要なことは、

り、家庭が信仰の伝達場になっていない。この世俗化の波の中で、私たち司祭は信仰のよき香りを放ち、光となつて人々を導かねばならない。司教を頭としてドミニコの模範に倣おう。また、司教もドミニコに倣って清貧と説教を通して民を導くことが出来るよう祈ってほしい。

聖体奉仕者更新式

9月21日（日）、「聖体授与の臨時の奉仕者」更新式が行われた。式に先立って行われた講話でフランコ神父は、「奉仕者はキリストのなされたことを司祭とともにに行い、またキリストの愛を表すしるし、その生ける道具として奉仕する」と語った。分ち合いの中で、聖体奉仕者に対する司祭の理解の相違により、十分に活動の場が与えられないなどの点が指摘された。参加者120余人は、新たな任命をうけ、各小教区に派遣された。

8月末、フィリピンでアジアの若者を中心としたセミナーが行われ、数名の司祭とともに参加しました。参加者はアジアのあらゆる国々から集った司教、司祭そして若者たち、そして彼らを養成する養成担当者たち総勢80名くらいです。主催した団体は、アジアの若者を一年かけて養成する機関です。▲コース参加者は自分と出合い、キリストと出合いそして教会、社会と出会って行きます。霊性、聖書や神学を一年かけて学び、祈り、多国籍の人々と交わって、コース終了後は自分の国、教区に戻ってあらゆる奉仕をします。今回のこの集まりは、若者を派遣する教会の責任者（司教）と養成者そして養成された若者たちの集いなのです。もちろん彼らは司祭になるために一年間のコースに参加するものではありません。あくまで信徒宣教師として学び、派遣されていくのです。▲日本では司祭、修道者の召命のために盛んに祈り援助しますが、聖職には就かないものの信徒として教会に奉仕しようとする人々を養成しているか、大いに反省させられた。▲アジアの教会が置かれている状況は、一部を除いてどの国もキリスト者は少数、また経済成長の狭間に生まれる格差、貧困、ハイテク機器の氾濫などに伴って物質主義が横行し、宗教は忘れられ軽視されています。日本という国は、欧米志向が強い国だと思いがち（教会も）、確かにアジアの一国であり、アジアの中の教会として、共通する問題を抱えているがゆえに、アジアの人々とともに宣教について考えて行く必要性を痛感した旅でした。【M】



ある時「今の若者の世界を色で現すとどんな色を使いたいと思いますか」と質問されたことがあります。返事をためらいましたが「少しくすんだしみもある青色にしたい」と答えました。今の社会に色の変化は多いですが、インターネット、ソフトウエア、携帯電話などの伝達手段は国々の境をなくしたかのように見えます。若者はこんな変化に深い影響を受けています。たとえば、自分の国から出て、他

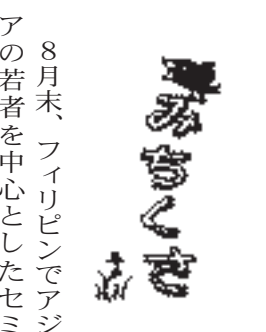
の文化に触れ、新しい友達をつくり、コミュニケーションを増やすなどのことを求めています。「フィリピンに行つて、私の人生ヴィジョンが広くなりました。自分のことだけ考えて、自分の世界にだけ閉じこもって生きるのではなくて、たくさんの人を愛し

しい光を与えるのです。他方の若者は現代の激しい変化の被害者です。彼らの声は青空を曇らせます。「私は寂しいから携帯で出合いを探す」、「必要のない人間なので自分の存在を消したい」等など。こんな寂しい若者が生まれるのは大人のせいでもあると思います。若者にはよい模範と人生の価値観を示す大人が必要です。教皇様は若者をとて大切にしたいと思っています。私達信者が教皇様の心を持って若者を信頼したり、励ましたり、希望を与えたりできますように。カノッサ修道女会会員

シスターの目で見た若者
て、人のために働ける人間になりたいなあと心から思います。「東ティモールに行つて私の価値観が変わりました。自分自身の幸せが分かり、他人の幸せのためにも働きたいと思います」などの海外ボラティア体験ができた若者の言葉、行動は今の社会に輝か

る文化に触れ、新しい友達をつくり、コミュニケーションを増やすなどのことを求めています。「フィリピンに行つて、私の人生ヴィジョンが広くなりました。自分のことだけ考えて、自分の世界にだけ閉じこもって生きるのではなくて、たくさんの人を愛し

る文化に触れ、新しい友達をつくり、コミュニケーションを増やすなどのことを求めています。「フィリピンに行つて、私の人生ヴィジョンが広くなりました。自分のことだけ考えて、自分の世界にだけ閉じこもって生きるのではなくて、たくさんの人を愛し



殉教者小笠原玄也家族の『遺書』

その⑬

いのちの旅立ちを前に……

中野 じょあん
詫間 さすけ 殿
吉田 喜左衛門 殿
斎藤 こえもん の奥方
宮崎 忠衛門 の子供
たわこ りあんの娘うるすら

これらの方々へ、皆さまのお心が変わることなく、私達のこともお氣にかけて下さっていることについて次の言葉を残します。
いつも聞いていたのは、人が求めている生命を包み隠してしまう谷間の鐘の音です。本物の価値は何であるかを皆様お忘れにならないようにお伝えください。忠衛門の子供には言いづてをお願いしたい。むかしのことを決して忘れてはいないとい信じていますと。
又布もし 様

第15号遺書

私たちは宗教のことが原因で死ぬことになりました。長い間あなたは親しくして頂いて、心底嬉しいことでしたと母親とあなたのことのみ話しております。お目にかかってお礼することも可能でなく、このままで終わるのは実に残念です。きっとあなたがたはこれからもお分りにならず、残念に思われることもあるでしょうが、これには深い理由がありましてこのような結果になってしまいました。後日、その理由をお聞きになり、この宗教に帰依し、私たちと再会できる日をお待ちしています。あなたはどれ程親切にして下さったか決して忘れてはなりませんと思いつつ、速くにあつて、会ってお礼を申すこともできません。本当に本当に残念です。母親もあなたのことを話し、何か贈り物をしたいと話していましたが、私の今の身分ではためらってしまいます。ともかくあなたのことで胸が一杯です。太郎もし様にも手紙できちんと述べようとしたが、同じことを述べるに過ぎませんので、その旨をお伝えください。もう心残りばかりです。 まん
四郎左衛門 様方 おはま様



聖なる読書 (4)

みことばを生きる 「観想」

聖書は文学作品としても高く評価され、信者ではない大勢の人たちも読んでいます。また聖書のテーマに基づいて作られた美術の名作も多いです。けれども信者にとつて、聖書には、古典を超える魅力、特長があります。それは秘跡と並び、神との出会いの場

神に話かけたり、話かけられたりする場、つまり神体験する空間と時です。聖書は神のみことば、日々一人ひとりに語りかける手段です。だから聖書は人間に神から送られた手紙とも言われています。聖書は過去のことばではなく、現在私たちにも語りかけていることばとして読まれるものです。古くから知られている箴言があります。「祈るとき、あなたは神に語りかけます。あなたが読んでいるとき、神はあなたに話しかけます」。これにもとづいて、10月ローマで行われる「教会生活における神のことば」の世界代表司教会議の提題解説には「現代のキリスト信者も、生活の源泉として、また、個人的なしかたで主と出会う手段として、神のことばを熱心に求めています。実にこ

うした個人的な出会いを通じて、目に見えない神は『大きな愛によって、あたかも友に對するように、人間に話しかけ、彼らと住まいを共にしている。それは彼らを自分との交わりに招き、これに与らせるためである』。このような神の寛大な啓示は、恵みによって絶えず行われます。この交わりは聖霊のわざによって行われます(Ⅱコリ2:12)。

「聖霊、来てください」。聖書を読むことによって、信じる者のいのちであるキリスト自身を知ること学びます。「イエス・キリストを知ることのあまりのすばらしさ」(フィリピ3:8)。この「知る」はただ頭で知るだけでなく、聖書の表現で、体験によって学んだことを身に付け、人格的関わりを持った多様な次元、出会いなので「神は、かつて預言者たちによって、多くのかたちで、また多くのしかたで先祖に語られたが、この終わりの時代には、御子によって私たちに語られました」(ヘブライ1:1-2)。

フィリップ・レナト神父(武蔵ヶ丘教会主任司祭)「聖ザベリオ会司祭」

殉教の真髓

平林冬樹神父

「殉教者」と聞くと、拷問に耐え、ゆるがぬ信仰をもって命をささげた人々として英雄視したり、または逆に暗いイメージだけを持つておられる方もあるかもしれません。列福式を前に「殉教者」とは誰か、ふさわしく理解するためにイエズス会の平林神父に寄稿していただきました。

ペトロ岐部と187殉教者の列福が決まってから、その生涯や生き方への理解が深まり、それを信仰生活の糧にしようとの機運が熟してきます。

他方「殉教」そのものの理解に関しては、まだ曖昧さが残っているように感じます。殉教者は素晴らしい英雄、でも暗くて陰惨なイメージで苦手。そんな印象をもっている人は、少なくとも思うに思えます。

原因の一つは、漢字文化にあるかもしれません。見慣れない語でも、漢字を見れば、その意味は容易に想像できます。「殉」は、もともと「死をもつて殉(したが)うこと」「追い死に」の意味がある

こと、これが真のあかし、つまり「殉教」です。イエスが選んだ十字架の道は、神様への信仰・希望・愛を示す「あかし」、つまり殉教です。そして、つまり、ま

ず神様が、人間への愛をあかして命を捧げた、神様が人間ののために殉教したと言うこともできるでしょう。

この意味で、殉教を理解しなければ、イエスを理解しないことになりま。神様が身をもつて示そうとしたのは、苦しみと直面し、それを選びとることをとおしてしか、幸せは得られないという不思議な逆説です。私たちはそのことを、理論ではなく、イエスの死と復活の事実によって知っています。だから殉教の生き方は、苦しみの向こう側に確かに約束されている命への希望そのものです。

殉教は、何か特殊な状況のもとで示される特別な生き方ではありません。教会が「殉教者」と呼ぶ人びとは、キリストが示した生き方を、いっそう明確なしかたを徹底した人びとといえるでしょう。(イエズス会士)

宣教師パウロのシルエット①

本年は、パウロ年として各地でその顕彰が行なわれている。教区報にも、使徒言行録、パウロの手紙の要点をコピーして、パウロを通して、キリストを知るよすがにしたいと思う。彼は、今のトルコの東、れつとした学術都市タルソに生まれた。ユダヤ名はサウロ、ギリシア名はパウロ(小さい者の意)、両親は離散のユダヤ人で、彼に厳格なユダヤ教の教育を施し、幼児期に教えた二つの言語

独身を守った。森山 敬三(大名町教会信徒)

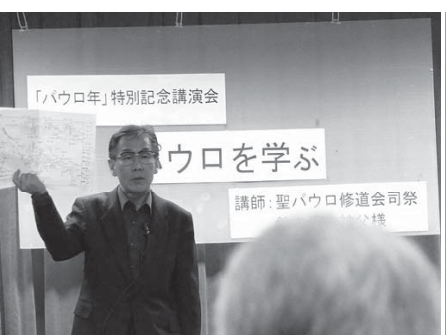


種ナシの西瓜の赤が引き立たぬ非常口あるなと思うだけである

司祭人事

▽V・ヤングキャンブル病氣療養のため帰国中(人吉・八代教会主任)▽松井忠之Ⅱ人吉・八代教会管理者(福岡教区会計兼務)▽来住英俊Ⅱ福岡黙想の家院長(御受難会管区長兼務)▽鈴木忠一Ⅱ召命の家氣付(黙想の家院長サバティカル)▽D・マルケットⅡ玉名教会管理者(島崎教会主任兼務)▽泉類Ⅱイエズス会福岡修道院氣付(広島教区徳山教会)

聖パウロ年 特別講演会



9月23日(火)、カテドラル大名町教会で「パウロ年記念特別講演会」が行われ200人以上の信徒や修道者が参加し聖パウロを身近にする体験の機会を持った。

講師は聖パウロ会司祭の鈴木信一神父。パウロの13の書簡をパウロの生涯と宣教活動、パウロの回心と殉教、パウロ書簡の重層性と3つの課題で解説した。さらにその執筆年代に沿った分類、その特徴を捉え、この書簡の思想の多様性を確認した。

▼参加者Ⅱ12使徒じゃなくても、それよりも私たちに身近な、キリストの弟子という感じが強くなりパウロが好きになりました。

坂牧春妙 坂牧春妙

第18回

むなかたてんてんまつり

《10月13日》

特別講演

10:30

シスター高木慶子

平和祈願ミサ

14:00

宮原良治司教

カトリック福岡黙想の家

聖堂・洋個室(洗面トイレ付)／冷暖房／浴室シャワー室／障害者用トイレ／エレベーター

カトリック御受難修道会・宗像修道院

811-4155 福岡県宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222・Fax 0940-32-3385

http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~fmokuso/index.htm

PRAYER GROVE

MUNAKATA

ミサ用ワイン

MULLER

VINO DE MISA

スウィートタイプ(赤)(白)

ご用命

お問い合わせは

有限会社 大楠酒店

ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号

電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

草苑

カトリックのご葬儀

互助会制度もご利用できます。

木下株式会社

T E L 092-526-5656

〒810-0016

福岡市中央区平和3丁目1-5

シヨファイユの幼きイエズス会修道会 創立150周年 開幕

1859年9月14日、地方教会の要請にこたえて、フランスのブルゴーニュ地方シヨファイユに一つの修道会が誕生した。初代総長として選出されたレーヌアンティエは、「マリアにおいて幼子となられた神の愛の秘儀を示す」と言うカリスマ的使命を、時代と社会の必要に応えながら、特に、恵まれない地域や恵まない人々の中で実践していった。

数多くの僻地で学校教育を始め、病院を設立し、無医村に訪問看護のシスターを派遣し、両親が織物工業に従事するために放置された子ども達には保育所を開設し、地方から出てきた織物工場の女子工員の世話をするなど活発な使徒職を展開していった。

修道会創立18年後の明治10年、4人のシスターたちが日本に派遣された。それは信徒発見で有名なブチジャン司教

近頃の若いモンは

—青年による青年事情通信—

2008 WYD 世界大会・シドニー
WYD 日本大会・山梨県

今夏7月、WYD世界大会（シドニー）に日本から111人、福岡教区からは9人が参加。続く8月、WYD日本大会（山梨県）が開催され日本全国から200人の青年、司祭、修道者が集い、福岡教区から15人が参加した。それぞれの参加者にこの夏を振り返ってもらった。【世界大会参加者Ⅱ（世）・日本大会参加者Ⅱ（世）】

Q 参加のきっかけは？
（世）前回参加した青年の薦めで／人生の新たなスタートとして／神様に呼ばれていると感じた

（世）世界大会への参加が困難、少しでもWYDを体験したい／興味があった

Q 印象に残ったプログラムや出来事は？
（世）巡礼や教皇ミサ／聖体礼拝・心静かに自分を見つめた／地元の人との交流、野宿

（世）太陽の下で立つたまま受けたゆるしの秘跡Ⅱ新鮮でした／みんなと一緒に思いっきり歌ったテーマソング

Q 辛かったことは？
（世）自分と向き合ったこと／体調を崩した／徒歩巡礼（日）朝5時起き、徒歩巡礼！眠い／翌日の仕事！

Q 楽しかったことは？
（世）共に祈ったこと／仲間と語り合う何げない時間／日本をアピールできたこと（日）全部！／徒歩巡礼の中で多くの人と語り合ったこと／新しい出会い

Q 何を祈っていましたか？
（世）何を祈っていましたか？



の招きによるものだが司教は元シヨファイユの母修道院付き司祭であり、この摂理的出合いが幼きイエズス修道会の日本宣教を実現に導いた。

9月14日、大阪府宝塚にある管区本部と奄美地区で記念の「感謝の祭儀」が捧げられた。九州地区では、久留米信愛修道院において宮原良治司教司式のもと、「感謝の集い」が行われた。

今回の集いは、昨年、日本宣教130周年を迎えた日本管区の会員が修道会創立150周年を基に、長年の間

（世）笑顔が増えました／自分の弱さを認める強さとか（日）悩みに前向きになれた／聖霊に生かされる自分／生活の中で喜びを多く感じられるようになった気がします。

Q 何を祈りましたか？
（世）消えることのない永遠の宝／神様の新しい導き／人のために祈ることが私には必要だということ（日）聖霊をたくさん得ました／共に歩む存在

Q 今、何を伝えたいですか？
（世）私たちは聖霊によって集められ一致することができ、ます／人間ってあつたけえよ！／私から何か感じて欲しい（日）ものすごく楽しかったことを伝えたい！／人が集まるっていい、時間と努力とお金を割く価値がある／多くの青年、中高生の皆さんにも知ってもらいたい！

Q 日本のカトリックの未来は明るい？心配？
（世）明るい！教会は誰かが作ってくれるものじゃなく、一人ひとりがつくるもの、私も作りたい／明るいかどうかかわからないけど、学ばなければならぬことがたくさんあることがわかった。縦の世代の交流を深めたい／大丈夫だと思える。明るくしていきたい、私たちが。

福岡教区信徒協だより(17)

—福岡教区修道女連盟—

＝前回より教区信徒協連合会に参加されている使徒職団体を紹介しています。今回は「福岡教区修道女連盟」に目的、活動などを紹介していただきました＝

「福岡教区修道女連盟」は、福岡教区に住むすべての修道会員と在俗会員によって構成されています。

事務局は当番制になっており、本年はマリアの宣教師フランシスコ修道会（熊本第一修道院）役員は、会長・副会長・会計・書記・会計監査となっています。

目的は、福岡教区内の修道女が教区長の指導の下に、神の民としての自覚を持って教会に奉仕し、霊的向上を図ると共に、相互の連帯と協力のうちに福音宣教を果敢することです。

運営は分担金でまかなわれています。

司教様の任命による指導司祭をいただき、何かと助けて頂いています。今年は青木哲神父様（鎌倉教会）です。

役員会は年4回ほど開催され、

事務的なこと、大神学院の召命の集いへの協力・参加方法の検討や緊急の問題があれば、出来る範囲で協力するようにします。

活動としては、目的の達成のために種々の集い、研修会などを行っています。また、教区共同体としての連帯意識を高め、その諸活動に積極的に参加します。今年は4月29日に、大名町教会で総会が行われました。総会の前半は、西新教会の森山信三神父様の講話により、参加した100名のシスターは、折りと感謝をさせていただきました。

私たち修道者は、死ぬまで宣教者として、生き生きして、神のみ目を果たしていくことが出来るように日々祈っています。

どうぞ、このような姉妹連のためにもお祈りくださいますようお願いいたします。



出発。平和の広場の高さ約5メートルほどの三角塔で平和の火が燃えていた。火の説明を受け、ハッキンカイロへと転火。その瞬間、平和の大切さが心の底まで伝わった感じがした。その感動を胸に一行は、この火を大切に守ってき

た山本達雄さんと星野村の平和への熱い思いを伝える生き証人となったのである。北九州にリレーされた火

に頂いた神様のお恵みと、恩人、先人にさらなる感謝を捧げ、教会と社会において益々忠実にその使命をはたすことができるように、特にこの1年を新たな決意の時とできるように祈るときとなった。

平和の火（原爆の火）が心に灯った夏

北九州地区平和の集いは8月10日開催されたが、「平和の火」が新たな息吹を注ぎ、平和句間の意義を感じさせられるものとなった。

63年前から星野村で燃え続けている原爆の火をリレーするチャンスにめぐり合った。8月5日、19人で星野村へ



共に手をつなごう！外国人セミナー開催

「愛と理解：外国人信徒と日本人信徒の手をつなごう」のテーマで開催され、九州各地から250人が参加した。

二組の夫婦と4人のフイリピン人のスピーチと分科会が行われ、外国人信徒の悩み、苦しみ、喜びを分かち合い、理解を深め、共同宣言を採択して終了した。ある日本人参加者は「外国人の信仰に根ざした強くて明るい生き方、そして誇りに感激した。教会共同体の中で責任や役割を担い合い、互いに豊になっ

ていけた」と語った。

今年の長崎教会管区外国人セミナーが、9月23日（火）熊本のマリスト学園を会場に



☆キリシタンの祈り

木崎さと子・文

小山 硬・画



強く秘められた彼らの信仰を思い起こさせてくれます。同時に、殉教者たちが見た神の愛の光を共に見せてくれます。キリシタンの心に触れていただくためにぜひお薦めしたい一冊です。

女子パウロ会
税込定価2310円

☆キリスト教信仰と現代社会

21世紀への挑戦

光延一郎 編著



世に於いて、その時代の社会に挑戦した。不安と緊張に満ちた現代社会に生きる私たちに求められている挑戦について、14名の執筆者が独自の考察で語る。

サンパウロ発売
税込価格 3675円

☆教皇ベネディクト十六世

霊的講話集2007



告げの祈りのことば、アドリミナの折の日本司教団への講話などを収録した1冊。カトリック中央協議会発行

税込価格 1050円

不動産全般／売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください



(株)ジャパン・スマイルか

代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田利子

〒810-0044 福岡市中央区六本松4丁目9番4号

TEL 092-761-8800

http://www.inuka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション

自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。費用は医療、介護保険でのご利用になります。

春日市上白水 5-11-102 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表：エリザベト熊谷

総合建築業

・一般住宅（新築・改築工事）
・鉄骨工事

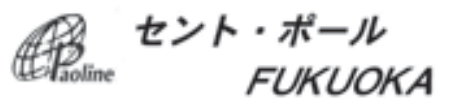
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください

有限会社 森山工務店

ヨゼフ 森山 森山 森山 森山

福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎ (092) 811-7265

本との出会い 人との出会い 神との出会い



キリスト教書籍・信信用具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大名 2-7-7 大名町カトリック教会 1F
平日／AM 10時～PM 6時
日・祝日／AM 11時～PM 4時（水曜日定休日）
TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601
URL http://www.pauline.or.jp

